

## 東久留米 — 地名の由来 —

“東久留米”という土地は、もともとひとつの行政単位として存在していたのではなく、小さな村々が集まって明治時代にほぼ現在のよう姿になりました。

東久留米市に先立つ久留米村が誕生したのは、明治22年です。明治政府が町村合併を図って市町村制を施行した翌年、江戸期の8か村と2つの新田に田無の飛地を含めて久留米村が成立しました。(下図参照)

当時、東久留米市域は神奈川県北多摩郡に属していましたが、明治26年に東京府に編入され、昭和31年には人口が1万人に達して久留米町となり、昭和45年、東久留米市が誕生します。この時、久留米の頭に「東」がついたのは、自治省から福岡県久留米市との混同を避けるよう要望されたことや、町民からも“東久留米”を希望する声があったことによるようです。因みに、大正4年に武蔵野鉄道(現西武池袋線)の池袋～飯能間が開通した時すでに、同じ理由により、駅名は「東久留米駅」として開業しています。

では、“久留米”という地名はどこから来たのでしょうか。今回はその由来を探ってみましょう。



